

令和元年度 第7回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会 場 令和元年10月24日(木)午後7時00分～9時00分 昭代会館
出席者 谷部議長、中村副議長、佐伯委員、長瀬委員、稲垣委員、松本委員、
二ノ宮リム委員、吉村委員
欠席者 齋藤委員、濱田委員
事務局 川崎社会教育係長、来住野社会教育主事

1 開 会

<配付資料>

- 資料 1-1 社会教育施設の複合化・集約化
- 資料 1-2 視察研修先(案)
- 資料 2 令和元年第3回昭島市議会定例会一般質問<生涯学習部関係>について

- ・とうきょうの地域教育 No.137
- ・社教連会報 No.85
- ・Newsletter No.23
- ・文化協会会報 第73号
- ・あきしまの青少年 No.256
- ・青少年委員だより 第25号
- ・公民館だより No.194
- ・令和元年度昭島市青少年善行表彰候補者及び青少年健全育成協力者感謝状贈呈候補者の推薦について(依頼)
- ・昭和公園のD51を甦らせよう

2 議 題

(1) 第30期社会教育委員会議のテーマについて

前回会議では、若者の意見を活かす場はあるのだろうかという話があった。そこでは、「若者と一緒に何かを考える」「想いに対して何ができるのか」という意見が出た。

議 長 今年の『未来をひらく』では、「挨拶」に関するものが多かった。

委 員 冊子を読んでもみると、子供たちは純粋な気持ちで、高齢者のことなど社会について見ていると感じる。

議 長 自治会の会議で聞いた話だが、奥多摩街道沿いでごみを拾いながら帰っている小学校高学年の児童を見かけた人が、彼らを「えらいね」と褒め、その話を校長先生にお伝えしたところ、すぐに学校だよりの中にその話を入れてくれたそうだ。小さくてもよい行いを見かけたら声をかけたいと思った。

委 員 子供の方が交通ルールをしっかり守っている。守らないのは大人が多い。

議 長 地域の清掃活動をしている企業もあるが、そういう大人の姿を見て、子供たちが自発

的に動いているのではないかと思う。企業側も、企業風土を高める継続的な取組みにより、在職中や退職後、積極的に地域に貢献しようとする人材も育っているのだと思う。

委員 その会社では、会社の近辺に住んでいる人も多い。

議長 採用は全国的だが、会社ができた当時、あのあたりは原っぱだったので、会社の近くに家を建てることができた。今でも市内在住者が多い。

委員 職住近接は社会活動できる大きな要因だ。

委員 子供の意見をどう活かすかという話で、若者会議や、子供の地域づくりへの参画が広がっている傾向にあるが、昭島では中高生の若者は学校外で自分の意見を言う場がない。あきしま会議が少しそういう場になりうるのではと思う。

委員 つなげるという意味では、意見交流できる場があれば、ずっと続いていくものになるかもしれない。

委員 他校の児童生徒が交流する機会は、小学生国内交流事業以外でどのような場があるだろうか。

委員 昭島市では、中学校区によって6つの小中一貫校グループに分かれており、教員の側が系統性を持たせたり、中学生が小学校へ出向き挨拶運動をしたりするなどの交流はある。中学校は部活動などで交流がある。

委員 中学生リーダー講習などは交流の場だといえるだろう。

議長 小学生国内交流で感じたが、子供たちはすぐに友達になることに驚く。

委員 男女に関係なく仲良くなるのが早い。すごい力だと思う。

委員 気持ちが柔軟だからか、打ち解けやすいのではないだろうか。

委員 中学生になると、意見を持ち始めるので活躍の場があるといい。

委員 ぱれっとも子供たちの交流の場になっているようだ。

(2) 視察研修について

委員 視察先として、他の地域の複合施設という提案をしたので探してみたところ、文部科学省のホームページにまとめられたものがあつたので参考にご紹介する。ここには全国のもものが掲載されていたので、近いところは独自で視察に行ってもよいと思う。アキシマエンスのコンセプトに「つなぐ・広がる・みつける・育む」知の拠点として、

- ・ つなぐ：市民と情報、市民と市民をつなぎ、あきしまの今を未来につなぐ場
- ・ 広がる：市民ひとりひとりの世界が広がり、交流の輪が広がる場
- ・ みつける：市民が自ら課題に向き合い、必要とする知識や情報、人とのつながりを見つける場
- ・ 育む：あきしまの未来を創る市民を育む場

(昭島市社会教育複合施設建設計画基本方針・基本計画 平成24年)と記載されているので、このことを視野に入れておきたい。

アキシマエンスについては指定管理者制度の導入になるわけだが、他の地域における指定管理者がどのように市民のニーズを把握していくのか、その取り組みの仕方などを視察したいと思っている。

議 長 様々な機能がアキシマエンスに集中するので、他市にも引けを取らない施設になるのではないかと。前回の視察研修先のひたちなか市の施設も複合施設だった。

委 員 複合施設では階ごとにさまざまな施設があるものも多いが、同じフロアにあってもそれぞれの機能の連携が見られないというところもある。なにか連携がうまくいくヒントになればと思う。

議 長 静岡市清水区の清水テルサは勤労者福祉センターとのことで、トレーニングルームなども充実している施設のようなのだ。

委 員 アキシマエンスには教育センターも入るので、そういった機能が入っている施設の事例を視察できると面白いのではないかと。部署間の連携というものをみたい。学校だけではなく、社会教育の中で学校からはみ出た子や学校だけで負えないことを社会教育の施設で取り組んでいくというものだと思う。

委 員 清水テルサは、いろいろな世代の人が利用者として考えられる。講座数も多い。

議 長 交流やコーディネート機能というのを、こうした施設では組織的にやっているのだろうか。

委 員 昭島市の社会福祉協議会は、サロンをやりたい方向けの説明会などもやっていた。

事務局 社会教育課を中心としたコーディネート機能を持たせるということをあきしま学びぷらん（第2次昭島市生涯学習推進計画）の中で謳っていることもあり、考えていかなければならないが、情報を自分で選択できる場所があれば、そこは場所そのものがコーディネート機能を持つということになると考えている。

議 長 視察研修先については、議長、副議長と事務局で相談し、次回ご提案したい。

報 告

(1) 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰候補者の推薦について

※表彰候補者推薦規定により、谷部議長、中村副議長、松本委員を推薦する。

(2) その他

委 員 健康づくり推進協議会では、11月にアンケートをするということだ。

次回

11月21日（木） 午後7時より 昭和会館

12月19日（木） 午後7時より 昭和会館